
第2次豊田市教育行政計画

(計画期間：平成25年度～平成29年度)

最終評価報告書

平成30年8月

豊田市教育委員会

目次

	頁
1 はじめに.....	2
2 本市の教育行政の沿革.....	4
3 計画全体の評価.....	7
4 重点テーマ別評価.....	9
5 分野別評価.....	13
(1)学校教育分野.....	15
(2)生涯学習・次世代育成分野.....	20
(3)文化芸術・文化財分野.....	23
(4)生涯スポーツ分野.....	26
(5)教育行政事務分野.....	29

1 はじめに

第2次豊田市教育行政計画は、「豊田市総合計画」を上位計画とする教育分野の総合的な計画であり、学校教育、生涯学習・次世代育成、文化芸術・文化財、生涯スポーツ、教育行政事務等、教育の全分野を対象としています。

平成25年3月に「多様な市民一人ひとりが自ら学び、人と地域が共に育ち合う教育の実現」を基本理念とした計画を策定し、様々な施策を実施し、教育の振興・発展に努めてまいりました。

このたび、平成30年3月をもって、5年間の計画期間が終了しました。本報告書は、第2次豊田市教育行政計画の5年間の総括として取組実績・成果をとりまとめたものです。

今後は、国・社会の動向や本市の現状と課題を踏まえながら策定した第3次豊田市教育行政計画(平成30～33年度)において、「地域ぐるみで学び合い」をキーワードに着実な計画推進に努め、教育の振興・発展を進めていきます。

(参考) 第2次豊田市教育行政計画の全体構成

(長期目標)

【基本理念】

多様な市民一人ひとりが自ら学び、人と地域が共に育ち合う教育の実現

【目指す人物像】

- 生涯にわたって主体的に学びやスポーツを継続し、目標に向かって挑戦する人
- 家庭・仕事・地域を大切にして、とよたの未来を共働して創造する人
- 根気強さ・たくましさ・思いやりの心を備え、夢を持って生きる人
- グローバルな視点を持ちながら、地域の多様な文化・自然を愛し、次代へ継承・発信する人

(中期目標)

今後5年間で目指す教育の姿

地域に開かれ、地域に支えられ、時代の変化に適切に対応した学校運営ができていく

家庭・学校・地域が共に子どもの可能性を引き出し、子どもが将来に夢・希望を持っている

市民が主体的に活動し、とよたの魅力や特色を理解し、他へ発信している

地域ぐるみの教育

重点テーマ

- 1 地域力を生かした学校支援の推進
- 2 学校教育の更なる充実
- 3 学校経営力の向上
- 4 学びのつながりを重視した教育の推進
- 5 環境・防災の教育と機能強化の推進
- 6 家庭教育力の向上
- 7 青少年に対する支援体制の強化・充実
- 8 ものづくり事業の更なる展開
- 9 文化芸術に係る人材育成と活用
- 10 市民力を生かした郷土愛の育成
- 11 市民のスポーツ活動への支援

施策体系

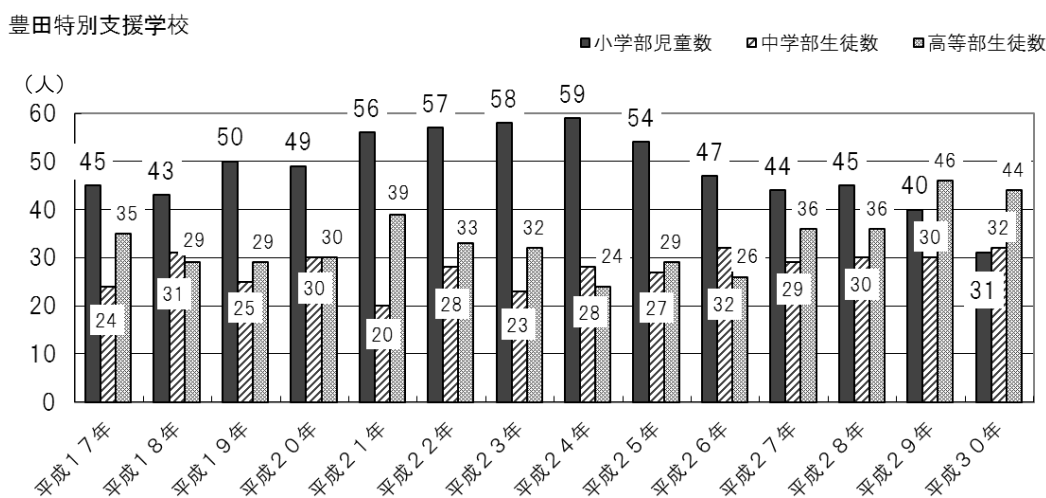
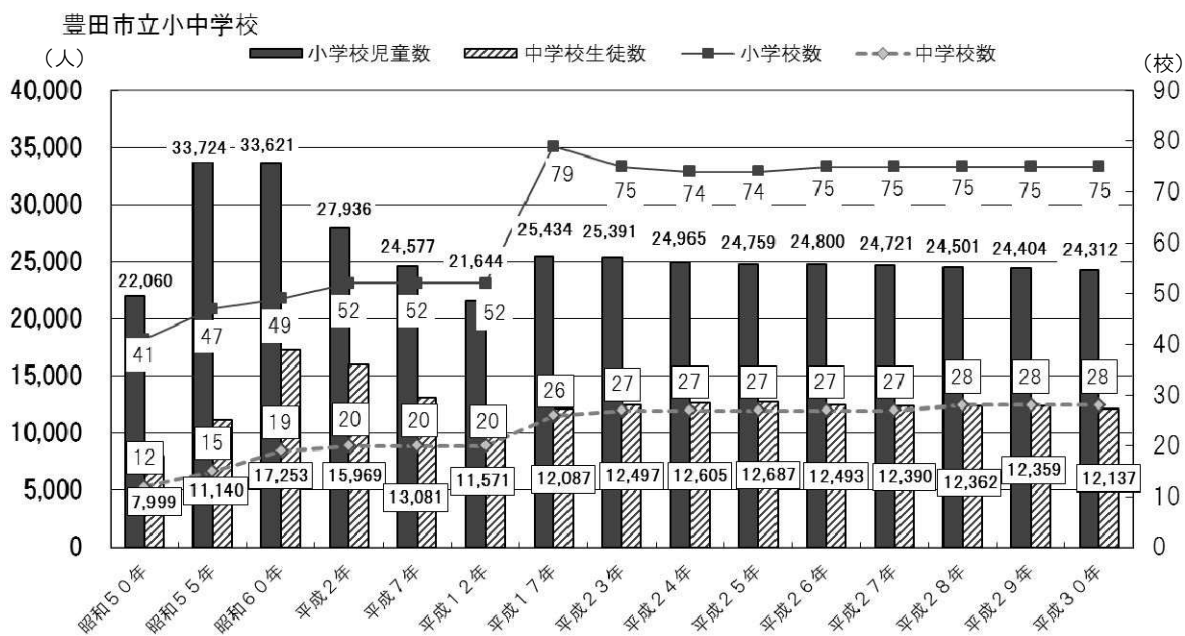
- 学校教育分野
- 生涯学習・次世代育成分野
- 文化芸術・文化財分野
- 生涯スポーツ分野
- 教育行政事務分野

抽出

2 本市の教育行政の沿革

(1) 児童生徒数と学校数の推移

平成30年5月1日現在の児童生徒数は小学生24,312人、中学生12,137人であり、平成25年に比べ、小学生は約450人減少、中学生は550人減少しています。学校数については、平成26年4月に浄水北小学校、平成28年4月に浄水中中学校が開校し、平成30年5月1日現在、小学校75校、中学校28校となっています。

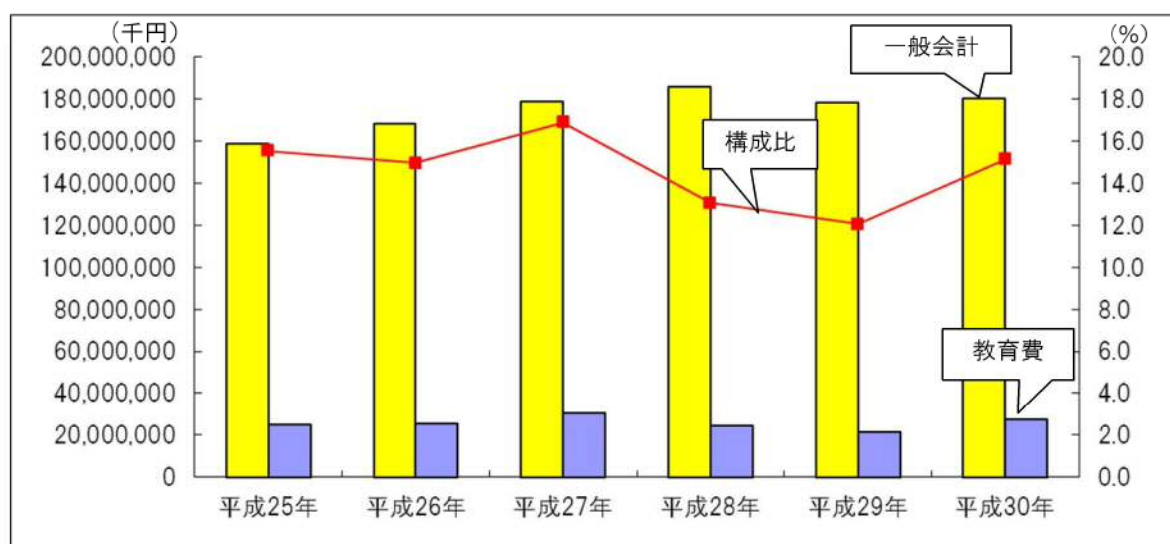


(2)教育予算の推移

平成30年度の豊田市の一般会計当初予算は1,803億円であり、そのうち教育費は約273億円です。平成25年に比べ、それぞれ215億円、約26億円増加しています。

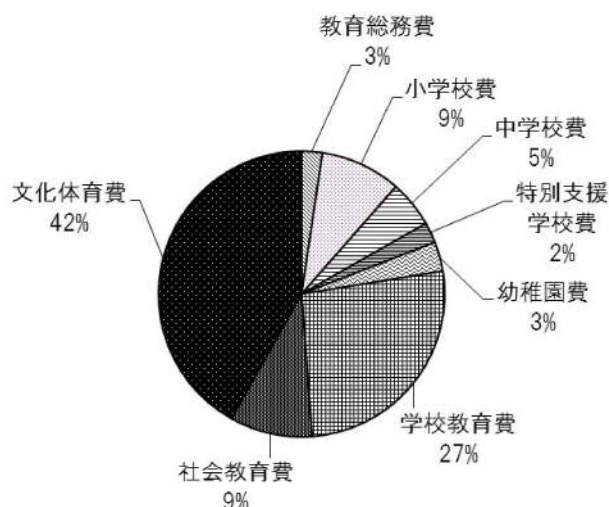
①一般会計と教育費の推移（当初予算ベース）

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
一般会計(百万円)	158,800	168,500	178,700	185,900	178,300	180,300
教育費(百万円)	24,681	25,208	30,197	24,283	21,500	27,302
構成比(%)	15.5	15.0	16.9	13.1	12.1	15.1



②平成30年度教育費の構成

目的	予算(千円)
教育総務費	642,058
小学校費	2,497,015
中学校費	1,445,655
特別支援学校費	633,629
幼稚園費	909,169
学校教育費	7,206,099
社会教育費	2,548,330
文化体育費	11,420,274
計	27,302,229



(3)主な出来事

平成 25 年	4 月	第2次豊田市教育行政計画を策定
	8 月	旧鈴木家住宅が国の重要文化財に指定される
	12 月	喜楽亭が登録文化財に登録される
平成 26 年	4 月	浄水北小学校開校 浄水北小学校に学校支援地域本部を設置
	12 月	とよた歴史検定実施
平成 27 年	4 月	新教育委員会制度開始 豊田市いじめ防止基本方針策定 青少年センターが産業文化センター内に移転 「親ノート」を全小中学生の保護者向けに発行・配布 豊田養護学校が豊田特別支援学校と名称を変更
	10 月	美術館リニューアルオープン
平成 28 年	4 月	浄水中学校開校 寺部小学校移転新築 浄水交流館開館 前林交流館移転新築 小4～小6にサポートティーチャーを配置
	6 月	(仮称)第3次豊田市教育行政計画策定のための審議会立ち上げ
	7～9 月	美術館「ジブリの立体建造物展」において、最多観覧者数を記録
平成 29 年	2 月	龍性院庭園が国の指定名勝に指定される
	4 月	機構改革(文化振興課・スポーツ課が市長部局に) 指定管理者による中央図書館運営開始 小原歌舞伎伝承館開館 ものづくりサポートセンターがものづくり創造拠点 SENTAN 内に移転
	5 月	豊田市藤岡民俗資料館(旧藤岡中学校特別教室棟)が登録文化財に登録される
	10 月	安長寺山門が登録文化財に登録される
平成 30 年	3 月	第3次豊田市教育行政計画策定
	4 月	「生涯学習センター交流館」を「交流館」に名称変更し、市長部局へ移管

3 計画全体の評価

本計画の全 161 事業のうち、89%に当たる 144 事業が目標を 100%以上達成(A)又は概ね達成(B)できています。計画目標を達成できなかった事業(D)は 9%に当たる 15 事業で、外的要因等により途中で事業終了となったものも 2 事業あります。このことから、過去 5 年間の本計画事業の推進については、概ね計画どおり推進できたと言えます。

一方で成果指標については、67 の指標のうち、目標を 100%以上達成(S)又は概ね達成(A)している指標は 27 指標、目標未達成(B)の指標は 20 指標で、達成度 0%未満(C)のものは 20 指標あります。

事業の達成状況が良好であるのに対して成果指標の達成度が低い理由としては、成果指標の目標設定が高すぎたこと、事業の成果がすぐには表れにくいこと、成果指標が行政の取組以外の要因に影響を受けやすいこと等が考えられます。特に、教育分野においては、他の分野と比較して成果が見えるまでに長い時間を要するものが多く、取組の継続性が重要視されることから、「第 3 次豊田市教育行政計画」の策定においては、計画の継続性を確保しつつ本計画の課題を踏まえて必要な施策を重点に位置付け、計画推進に努めています。

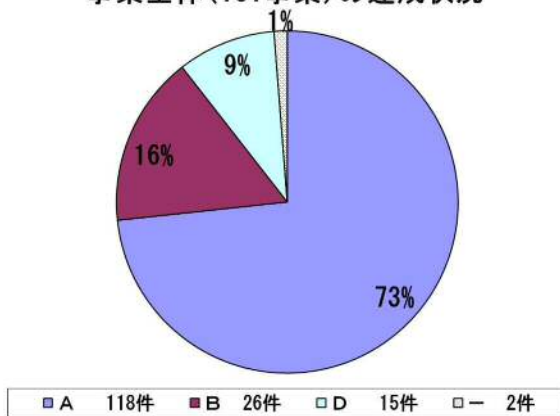
■事業全体(161 事業)の達成状況

達成状況	事業数	(うち重点テーマ)
A(達成)……………達成度 100%以上	118 事業(73%)	27 事業(71%)
B(概ね達成)………達成度 80%以上 100%未満	26 事業(16%)	9 事業(24%)
D(未達成)……………達成度 80%未満	15 事業(9%)	2 事業(5%)
—(終了)……………外的要因等により事業終了	2 事業(1%)	0 事業(0%)

■成果指標全体(67 指標)の達成状況

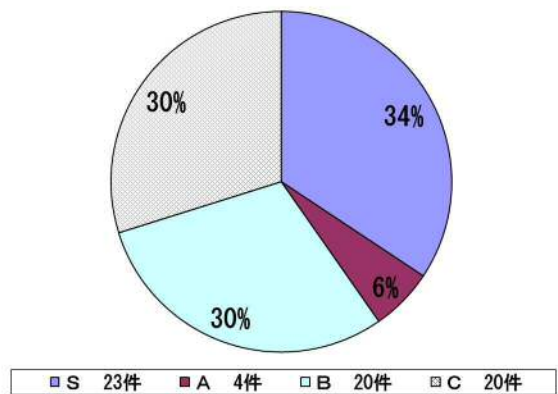
達成状況	指標数
S(達成)……………達成度 100%以上	23 指標(34%)
A(概ね達成)………達成度 80%以上 100%未満	4 指標(6%)
B(未達成)……………達成度 0%以上 80%未満	20 指標(30%)
C(未達成)……………達成度 0%未満	20 指標(30%)

事業全体(161事業)の達成状況



A(達成)	達成度 100%以上
B(概ね達成)	達成度 80%以上 100%未満
D(未達成)	達成度 80%未満
-(終了)	外的要因等により事業終了

成果指標全体(67指標)の達成状況



S(達成)	達成度 100%以上
A(概ね達成)	達成度 80%以上 100%未満
B(未達成)	達成度 0%以上 80%未満
C(未達成)	達成度 0%未満

4 重点テーマ別評価

本計画は、「地域ぐるみの教育」をキーワードに掲げ、基本理念実現のために各分野の施策体系の中から11の重点テーマを抽出し、特に重点的に取り組みました。

■成果指標の達成状況

成果指標	実績値	目標値	達成状況
教育に関する地域活動やボランティア活動に参加している市民の割合	18.2%	25%	B

S(達成)	達成度 100%以上	A(概ね達成)	達成度 80%以上 100%未満
B(未達成)	達成度 0%以上 80%未満	C(未達成)	達成度 0%未満

(1)地域力を生かした学校支援の推進

- ・学校支援地域本部の設置
- ・土曜・放課後学習の実施
- ・市民力を生かした文化系部活動の充実

学校と地域を効果的に結び、学校支援ボランティア活動の拡大を図るための学校支援地域本部は、平成 26 年 5 月に浄水北小学校に市内で初めて設置され、平成 29 年度末時点で学校支援地域本部(平成 29 年 4 月、「地域学校共働本部」に変更)の設置は 53 校に拡大しました。各校で、特色のある学校支援活動や地域学校共働活動の充実が図られました。今後は、コミュニティ・スクールによる中学校区でのまとまりを考慮しながら地域ぐるみで更なる活動の充実を図ることが課題です。

(2)学校教育の更なる充実

- ・ICT(デジタル教科書等)を活用した授業の展開
- ・中堅教員パワーアップ研修の実施
- ・いじめ・不登校対策推進委員会の充実
- ・小学校でのキャリア教育プログラムの作成

「ICT(デジタル教科書等)を活用した授業の展開」では、プロジェクターの導入、タブレット型パソコンへの切替等を行い、2 クラスに 1 台のICTカートを整備しました。デジタル教科書を利用した 1 か月当たりの平均授業時間は、小学校で 17.3 時間、中学校で 16.0 時間で、平成 24 年度と比較して小学校では 3.8 倍、中学校では 2.4 倍と大幅に増加しました。また、モデル校において、子どもたちがタブレット型パソコンの操作を身に付け、学習に意欲的に参加し、情報活用力を高めることができました。今後は、授業でより効果的に活用するためICT研修の充実を図り、子どもたちの主体的・協働的な学びを推進していくことが課題です。

(3)学校経営力の向上

- ・地域教育懇談会の再考・再編
- ・校長裁量による特色ある学校づくり事業の見直し・改善
- ・校長対象の研修会の充実
- ・学校問題解決支援窓口(SAT)の対応の機能強化

「地域教育懇談会の再考・再編」では、浄水中学校区を始め 4 校区において、地域教育懇談会を再編したコミュニティ・スクール連絡会議を設置し、学校・地域・家庭で目指す子ども像の共有、学校・地域連携について協議することができました。また、「校長裁量による特色ある学校づくり事業の見直し・改善」では、「はつらつ支援事業」と「チャレンジ&ドリーム事業」を統合し、校長の裁量範囲が広がり、特色ある学校づくりをより効果的に推進することができました。今後は、校長や管理職対象の研修内容の更なる充実を図るとともに、コミュニティ・スクールの全市展開を進め、地域と連携しながら特色ある教育活動を進めていくことが課題です。

(4)学びのつながりを重視した教育の推進

- ・(仮称)とよた大好きっ子カリキュラムの作成
- ・小中一貫教育の調査・研究及び推進

「(仮称)とよた大好きっ子カリキュラムの作成」では、とよた大好きっ子推進委員会を設立し、カリキュラム作成や推進の手引、モデル校実践事例の紹介等を行いました。平成 29 年度からは、とよた大好きっ子推進委員会をコミュニティ・スクール推進委員会に統合したことにより、学校と地域の連携を意識して 9 年間の学びのつながりを考え、実践することができました。今後は、園小、小小の連携も進めながら、中学校区で内容の見直しや検討を重ね更に充実を図ることが課題です。

(5)環境・防災の教育と機能強化の推進

- ・環境に配慮した校舎整備の展開
- ・校舎を活用した環境学習プログラムの展開
- ・防災教育推進委員会の設立
- ・非構造部材の耐震化
- ・自立型太陽光発電システムの設置

環境に配慮した校舎整備については、施設の保全改修工事に併せて屋上の断熱化、照明のLED化、庇やライトシェルフの設置、太陽光発電システムの設置等の整備を合理的・効果的に実施しました。また、保全改修実施校や新設校において、校舎を活用した環境学習プログラムを実践しました。

防災関係については、非構造部材の耐震化を平成 27 年度で完了したほか、防災教育ヒント集を作成し、藤岡南中学校で防災キャンプを実施するなど、実効性のある防災教育を推進しました。

今後は、学校ごとに立てられた防災計画のレベルアップを図るとともに、学校・地域・行政が共働して防災教育を展開できる仕組みを構築することが課題です。

(6)家庭教育力の向上

- ・(仮称)家庭教育手帳の作成・活用
- ・(仮称)親育ち交流カフェの開設
- ・家庭教育関連情報の集約と提供
- ・啓発資料の研究・開発
- ・パルクとよたの相談活動の充実

親育ち支援のため、子どもの関わり方のアドバイスや子育て支援策の情報を掲載した家庭教育手帳「親ノート」を作成・配付し、それらを活用して情報交換や相談することのできる「親育ち交流カフェ」を各地で開催しました。また、パルクとよたにおいて、スクールソーシャルワーカーを増員し、困難を抱えた家庭への積極的な支援を進めました。今後は、親ノートを活用して保護者同士や地域での交流・学び合いの機会を更に増やし、家庭教育を支援することが課題です。

(7)青少年に対する支援体制の強化・充実

- ・青少年育成プログラムの再編
- ・施設のソフト機能の見直しを含めた青少年センターの再整備
- ・(仮称)自立支援サポートステーションの開設
- ・(仮称)自立支援地域協議会の設置

豊田市青少年センターについては、平成 27 年に豊田産業文化センター内に移転し、青少年育成支援のための企画・調整を図る機関として位置付け、青少年育成活動の充実と効果的な推進を図りました。また、ニート・ひきこもりを始め困難を抱えた子ども・若者と家族に適切な支援を行うために、自立支援地域協議会を設置したほか、豊田市若者サポートステーションを開設し、居場所づくりや自立支援を行いました。今後は、関係機関の連携強化と、これらの活動についての認知度を更に高めていくことが課題です。

(8)ものづくり事業の更なる展開

- ・学校でのものづくり教育プログラムの拡充
- ・放課後児童クラブ等でのものづくりサポーターによるものづくり活動支援
- ・豊田市らしいものづくり講座の実施

ものづくりサポーターの協力を得て小学校の授業で行う「ものづくり教育プログラム」は、希望する学校数が増加し、平成 29 年度は 50 校で実施しました。また、豊田市らしいものづくり講座として小学校高学年以上を対象にした「クルマづくり究めるプロジェクト」、豊田科学技術教育振興会によ

る科学・ものづくり講座等を実施し、学校では体験できない機会を提供することができました。今後は、ものづくりサポーターの増員とプログラムの更なる向上が課題です。

(9)文化芸術に係る人材育成と活用

- ・地域資源を活用した文化事業の奨励
- ・学校への文化活動者派遣事業の実施

地域資源を活用した公募事業として「とよたデカスプロジェクト」を実施し、文化芸術を担う人材を育成するとともに、市民が文化事業に触れる機会を増やすことができました。また、子どもの文化芸術への関心を高めるため、文化活動者を講師として学校に派遣し、子どもが本物の文化芸術に触れる機会を創出しました。今後は、主体的に文化芸術活動を行う市民を増やし、文化事業に関わりながら地域に貢献できる仕組みづくりや活動の場を創出することが課題です。

(10)市民力を生かした郷土愛の育成

- ・(仮称)ふるさとマイスターの育成と普及・啓発活動の推進

平成 26 年度からとよた歴史検定を開始し、平成 27 年度からとよた歴史マイスターの認定を開始しました。平成 29 年度末現在、マイスターは 102 人に上り、郷土学習スクールサポート(学校への出前授業)や資料館での展示解説などの活動を行いました。今後は、マイスターについて市民への周知を図るとともに、マイスター同士の意見交換等を積極的に行い、活動の充実を図ることが課題です。

(11)市民のスポーツ活動への支援

- ・コーディネーショントレーニング教室の開催
- ・体力向上1校1実践運動の展開
- ・体力向上補助指導員の配置拡大
- ・指導者活用事業補助制度の利用推進
- ・スポーツ推進委員活動の充実

コーディネーショントレーニング教室の開催や全小中学校における体力向上1校1実践運動の実施、体力向上補助指導員の配置等、効果的に体力向上を目指す取組を行いました。しかし、子どもの新体力テストの結果は、依然として多くの種目で全国を下回っています。今後は、コーディネーショントレーニングの普及活動や指導者育成の充実を図り、特に子どもや中高齢者の体力を向上させるとともに、地域住民のスポーツ習慣の定着を図ることが課題です。

5 分野別評価

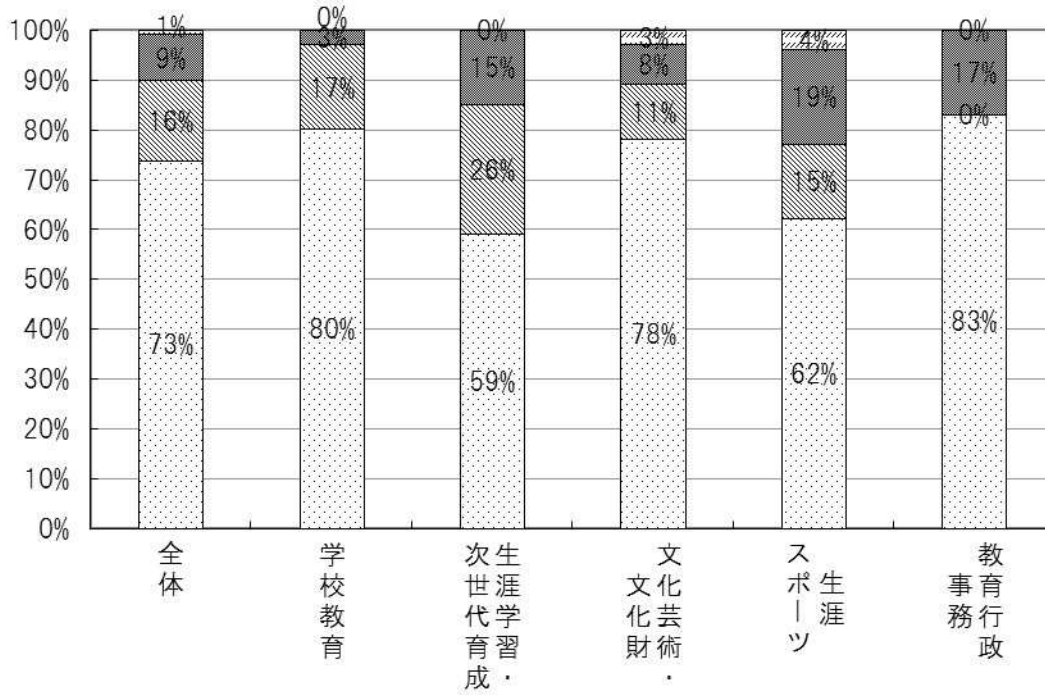
分野別に施策の達成度を見ると、学校教育分野は 90%以上の事業が目標を達成(A)又は概ね達成(B)することができました。特に、学校教育分野は、全体の約4割に相当する66の事業がありますが、その内 64 事業がほぼ計画どおり進められ、達成度が非常に高い分野であったと言えます。

生涯学習・次世代育成分野、文化芸術・文化財分野、教育行政事務分野については、80%以上の事業が目標を達成(A)又は概ね達成(B)することができました。生涯スポーツ分野においては、77%の事業が目標を達成(A)又は概ね達成(B)できた一方で、達成度 80%未満(D)が 5 事業(19%)ありました。

分野別の達成状況

	A:達成度 100% 以上	B:達成度 80%以 上 100%未満	D:達成度 80%未 満	ー:外的要因等 により事業終了
学校教育分野	53 (80%)	11 (17%)	2 (3%)	0 (0%)
生涯学習・ 次世代育成分野	16 (59%)	7 (26%)	4 (15%)	0 (0%)
文化芸術・ 文化財分野	28 (78%)	4 (11%)	3 (8%)	1 (3%)
生涯スポーツ 分野	16 (62%)	4 (15%)	5 (19%)	1 (4%)
教育行政事務 分野	5 (83%)	0 (0%)	1 (17%)	0 (0%)

分野別の達成状況



- A 達成度100%以上
- ▨B 達成度80%以上100%未満
- D 達成度80%未満
- 外的要因等により事業終了

(1) 学校教育分野

学校教育分野は「『生き抜く力』を育む学校教育の実現」を基本目標に、8 施策 66 事業に取り組みました。施策の達成状況を見ると、66 事業中 64 事業(97%)が目標を達成(A)又は概ね達成(B)することができました。

目標を達成することができた主な事業は、設置目標 4 校に対し、28 校の実績で設置が大幅に進んだ「学校支援地域本部*の設置」、ベテラン非常勤講師をサポートティーチャーとして配置した「少人数学級の拡大と少人数指導の研究」、全小中学校で実施した「道徳教育講座の開催」や「体力向上 1 校 1 実践運動の展開」などがあります。ハード事業では、早期に全校の耐震対策を完了した「非構造部材の耐震化」、目標より多く実施した「トイレ再整備工事の実施」や「自立型太陽光発電システムの設置」などがあります。

一方、目標を下回る結果となった事業は、イギリス側の都合により来日中止となった「海外からの短期留学生の受入れ」と、安全性の確保を最優先にした方針の見直しによる「アレルギー対応食の提供」の 2 事業でした。

成果指標の達成状況を見ると、33 指標のうち、目標を達成(S)又は概ね達成(A)できたものは 13 指標、数値は改善したものの目標未達成(B)のものは 8 指標でした。また、達成度 0%未満(C)のものは 12 指標ありました。

*「学校支援地域本部」は学校支援から地域と共働の活動へと発展させ、大人と関わる機会や多様な社会経験を積む機会を増やすことを目指し、平成 29 年度から「地域学校共働本部」に名称を変更しています。

■ 施策の達成状況

○ 施策の達成状況(集計)

達成状況	事業数
A(達成)……………達成度 100%以上	53 事業(80%)
B(概ね達成)………達成度 80%以上 100%未満	11 事業(17%)
D(未達成)……………達成度 80%未満	2 事業(3%)
—(終了)……………外的要因等により事業終了	0 事業(0%)

○ 施策の達成状況(詳細)

1-1 確かな学力の育成

施策・事業名	★:重点テーマ関連	主担当課	達成状況	
(1)学びのつながりを重視した教育の推進	001	(仮称)とよた大好き子カリキュラムの作成★	学校教育課	A
	002	小中一貫教育の調査・研究及び推進★	学校教育課	A
(2)きめ細かな指導のための教員配置と学級編制の推進	003	少人数学級の拡大と少人数指導の研究	学校教育課	A
	004	学校はつらつ支援事業の推進	学校教育課	A

(3)新しい学びのスタイルの推進	005	ICT(デジタル教科書等)を活用した授業の展開★	学校教育課	B
(4)教科指導の充実	006	理数教育の充実	学校教育課	A
	007	教科領域等指導員の研修の実施	学校教育課	A

1-2 豊かな心の育成

(1)道徳教育の推進	008	道徳指導員による指導訪問の実施	学校教育課	A
	009	道徳教育講座の開催	学校教育課	A
(2)豊かな体験活動の推進	010	都市と山間の交流事業の拡大	学校教育課	B
	011	特色ある学校づくり推進事業「チャレンジ&ドリーム校」の推進	学校教育課	A
	012	能楽鑑賞教室、心に残る記念事業の実施	学校教育課	A

1-3 健やかな体の育成

(1)運動を通じた体力の育成	013	体力向上1校1実践運動の展開★	学校教育課	A
	014	体力向上補助指導員の配置拡大★	学校教育課	B
(2)健康教育の推進	015	養護教諭の支援の充実	学校教育課	A
	016	児童生徒の生活習慣病予防対策の推進	保健給食課	A
	017	給食を通じた食育推進事業の推進	保健給食課	A

1-4 共に生きる教育の充実

(1)特別支援教育の充実	018	特別支援教育コーディネーターの力量向上	学校教育課	A
	019	学級運営補助指導員の配置拡大	学校教育課	B
(2)いじめ・不登校対策の充実	020	いじめ・不登校対策推進委員会の充実★	学校教育課	B
	021	市スクールカウンセラーの増員	学校教育課	A
(3)外国人児童生徒への支援の充実	022	プレスクールの実施	学校教育課	A
	023	ことばの教室の開設	学校教育課	A

1-5 社会の変化に対応する教育の推進

(1)防災教育の充実	024	防災教育推進委員会の設立★	学校教育課	A
(2)へき地・小規模校教育の充実	025	へき地・小規模校活性化補助事業の実施	学校教育課	A
(3)キャリア教育の充実	026	小学校でのキャリア教育プログラムの作成★	学校教育課	B
	027	職場体験活動の充実	学校教育課	A
(4)情報教育の推進	028	児童生徒の情報機器の活用力の向上	学校教育課	B
(5)国際理解教育の推進	029	中学生の海外派遣の実施	学校教育課	A
	030	海外からの短期留学生の受入れ	学校教育課	D
(6)環境教育の充実	031	校舎を活用した環境学習プログラムの展開★	学校教育課	A
	032	省エネ活動推進事業の実施	学校づくり推進課	A

1-6 高い指導力のある教員の育成

(1)教員の指導力向上を図る体制整備	033	教員対象研修見直し・一覧の作成(経年者、役職者を対象とした研修の体系化)	学校教育課	A
(2)研修の充実	034	中堅教員パワーアップ研修の実施★	学校教育課	A
	035	校務システムを活用した教員研修の実施	学校教育課	A
	036	校内現職教育を中心とした教員研修(教科領域等指導員、指導主事、授業アドバイザーの派遣)	学校教育課	A
(3)校長のマネジメント力の向上	037	校長対象の研修会の充実★	学校教育課	A
	038	校長裁量による特色ある学校づくり事業の見直し・改善★	学校教育課	A

(4)困難な学校諸問題への対応	039	学校問題解決支援窓口(SAT)の対応の機能強化★	学校教育課	B
	040	パルクとよたの相談活動の充実★	学校教育課	A

1-7 地域と共に歩む学校づくりの推進

(1)地域の学校運営への参画	041	地域教育懇談会の再考・再編★	学校教育課	B
(2)学校評価の充実・活用と学校教育の「見せる化」	042	学校自己評価の実施	学校教育課	A
	043	学校アドバイザー会議の実施	学校教育課	A
	044	ホームページや学校通信・学年通信による情報発信	学校教育課	A
(3)地域力を生かした学校支援の推進	045	学校支援地域本部の設置★	学校教育課	A
	046	土曜・放課後学習の実施★	学校教育課	A
	047	市民力を生かした文化系部活動の充実★	学校教育課	A
	048	住民ワークショップの開催	学校づくり推進課	A

1-8 学習環境と学校施設・空間の充実

(1)学習環境から見た学校規模適正化の推進	049	子どもたちの学習環境改善委員会の設置	学校づくり推進課	A
	050	大規模校解消のための新設校の建設	学校づくり推進課	A
	051	県立三好養護学校(現県立三好特別支援学校)の過大化解消に向けた方針の検討と取組の推進	教育政策課	B
(2)快適で豊かな学校施設整備	052	環境に配慮した校舎整備の展開★	学校づくり推進課	A
	053	学校と公共施設の複合化	学校づくり推進課	A
	054	教室への扇風機設置	学校づくり推進課	A
	055	通学路整備の推進	学校教育課	A
	056	理科備品の充実	学校づくり推進課	A
(3)学校施設における情報環境の整備	057	職員用情報通信端末・ネットワークの整備(校務系)	学校教育課	A
	058	校内LAN系ネットワーク・コンピュータ教室整備(授業系)	学校教育課	A
(4)計画的な保全改修の実施	059	施設保全改修工事の実施	学校づくり推進課	B
	060	トイレ再整備工事の実施	学校づくり推進課	A
(5)学校の防災・防犯機能の向上	061	自立型太陽光発電システムの設置★	学校づくり推進課	A
	062	非構造部材の耐震化★	学校づくり推進課	A
	063	インターホンの設置	学校づくり推進課	A
(6)給食調理環境の整備と施設延命化の推進	064	北部給食センターの改築整備	保健給食課	A
	065	アレルギー対応食の提供	保健給食課	D
	066	給食施設の計画的修繕の実施	保健給食課	A

■成果指標の達成状況

○数値目標の達成状況(集計)

達成状況	指標数
S(達成)……………達成度 100%以上	9 指標(27%)
A(概ね達成)………達成度 80%以上 100%未満	4 指標(12%)
B(未達成)……………達成度 0%以上 80%未満	8 指標(24%)
C(未達成)……………達成度 0%未満	12 指標(36%)

○数値目標の達成状況(詳細)

成果指標			実績値	目標値	達成状況
学校生活に満足している児童生徒の割合	小学生	—	82.3%	83%	A
	中学生	—	75.3%	75%	S
標準学力検査の平均得点率と全国との比較(通過率)	小学生	国語	66.3% (全国平均 67.0%)	全国平均を上回る	A
	小学生	算数	68.8% (全国平均 68.6%)	全国平均を上回る	S
	中学生	国語	57.9% (全国平均 53.0%)	全国平均を上回る	S
	中学生	数学	54.9% (全国平均 48.3%)	全国平均を上回る	S
学校のきまり(規則)を守っている児童生徒の割合	小学生	—	94.3%	97%	C
	中学生	—	96.5%	95%	S
将来の夢や希望を持っている児童生徒の割合	小学生	—	84.3%	90%	C
	中学生	—	66.0%	80%	C
新体力テストの平均値(全国平均以上の種目数)	小学生	男子	0種目	全8種目	B
	小学生	女子	1種目	全8種目	B
	中学生	男子	4種目	全8種目	B
	中学生	女子	3種目	全8種目	B
生活習慣病(肥満)の児童生徒の割合	小学生	—	8.5%	7.5%以下	C
	中学生	—	7.1%	7.2%以下	S
給食に満足している児童生徒の割合	小学生	—	79.0%	82%	B
	中学生	—	72.8%	78%	C
いじめ解消率	小学校	—	96.4%	100%	C
	中学校	—	97.3%	100%	C
不登校児童生徒数の割合	小学校	—	0.6%	0.1%以下	C
	中学校	—	3.1%	1%以下	C
教科内容を理解している児童生徒の割合	小学生	国語	85%	85%	S
	小学生	社会	82%	85%	C
	小学生	算数	81%	85%	C
	小学生	理科	87%	85%	S
	中学生	国語	75%	70%	S
	中学生	社会	69%	70%	A
	中学生	数学	66%	70%	B
	中学生	理科	69%	70%	B
中学生	英語	60%	70%	B	

学校の行事・活動に協力してもいいと思う市民の割合	—	—	77.2%	90%	C
施設保全改修実施率	—	—	71.3%	82.8%	A

(2) 生涯学習・次世代育成分野

生涯学習・次世代育成分野は「市民が生涯を通じて育ち合う環境づくり」を基本目標に、4 施策 27 事業に取り組みました。施策の達成状況を見ると、27 事業中 23 事業(85%)が目標を達成(A)又は概ね達成(B)することができました。

目標を達成することができた主な事業は、有用な家庭教育関連情報を集約し、その活用を図った「(仮称)家庭教育手帳の作成・活用」、ニート・ひきこもり等に関する相談・支援の充実を図った「(仮称)自立支援サポートステーションの開設」、調べる学習コンクールで多くの参加のあった「調べ学習の充実」、目標数を上回る学校数で実施できた「学校でのものづくり教育プログラムの拡充」などがあります。

一方、目標を下回る結果となった事業は、子どもの読書習慣形成へ努力している保護者の割合が思うように上がらなかった「『テレビを消して本を語ろう』の日の促進」、ものづくりサポーター登録者数が目標に達しなかった「ものづくりサポーターの増員」などがあります。

成果指標の達成状況を見ると、11 指標のうち、目標を達成(S)できたものは 4 指標、数値は改善したものの目標未達成(B)のものは 3 指標でした。また、達成度 0%未満(C)のものは 4 指標ありました。

■施策の達成状況

○施策の達成状況(集計)

達成状況	事業数
A(達成)……………達成度 100%以上	16 事業(59%)
B(概ね達成)………達成度 80%以上 100%未満	7 事業(26%)
D(未達成)……………達成度 80%未満	4 事業(15%)
—(終了)……………外的要因等により事業終了	0 事業(0%)

○施策の達成状況(詳細)

2-1 生涯学習の推進・支援

施策・事業名	★:重点テーマ関連	主担当課	達成状況	
(1)交流館の運営・整備	067	交流館の整備	市民活躍支援課	A
	068	交流館運営体制の見直し	市民活躍支援課	A
(2)地域人材の育成と地域参画の促進	069	市民企画講座の開催	市民活躍支援課	B
	070	高等教育機関との共催による成人講座の開催	市民活躍支援課	A

(3)中央図書館の多機能化と地域の情報拠点づくり	071	ICタグ(電子荷札)導入による貸出・返却・予約の自動化	図書館管理課	A
	072	高齢者向けコーナーの新設	図書館管理課	A
	073	交流館等(ネットワーク館)図書室へのボランティア育成	図書館管理課	B
	074	障がい者サービスコーナーの利用促進	図書館管理課	D
(4)子ども読書活動の推進	075	ティーンズコーナーの推進	図書館管理課	B
	076	ブックスタート事業の充実	図書館管理課	B
	077	「テレビを消して本を語ろう」の日の促進	図書館管理課	D
	078	調べ学習の充実	図書館管理課	A

2-2 家庭・地域の教育力の向上

(1)家庭教育力支援情報の集約・発信	079	家庭教育関連情報の集約と提供★	次世代育成課	A
	080	啓発資料の研究・開発★	次世代育成課	A
(2)親育ちのための学習支援	081	(仮称)家庭教育手帳の作成・活用★	次世代育成課	A
	082	自主的な家庭教育講座の開催支援	次世代育成課	D
	083	交流館での家庭教育講座の開催	市民活躍支援課	B
(3)親育ちのための交流の促進	084	(仮称)親育ち交流カフェの開設★	次世代育成課	B
	085	青少年育成団体等による親育ちのための支援	次世代育成課	A

2-3 青少年の健やかな成長と自立に向けた支援

(1)主体的で自立した青少年の育成支援	086	施設のソフト機能の見直しを含めた青少年センターの再整備★	次世代育成課	A
	087	青少年育成プログラムの再編★	次世代育成課	A
(2)自立への一歩を踏み出せない子ども・若者への支援	088	(仮称)自立支援地域協議会の設置★	次世代育成課	A
	089	(仮称)自立支援サポートステーションの開設★	次世代育成課	A

2-4 ものづくり文化の醸成

(1)学校におけるものづくり教育プログラムの更なる拡充	090	学校でのものづくり教育プログラムの拡充★	市民活躍支援課	A
(2)系統的なものづくり事業の構築と普及	091	豊田市らしいものづくり講座の実施★	市民活躍支援課	A
	092	放課後児童クラブ等でのものづくりサポーターによるものづくり活動支援★	市民活躍支援課	B
(3)ものづくり事業を推進するための仕組みづくり	093	ものづくりサポーターの増員	市民活躍支援課	D

■ 成果指標の達成状況

○ 数値目標の達成状況(集計)

達成状況	指標数
S(達成)……………達成度 100%以上	4 指標(36%)
A(概ね達成)………達成度 80%以上 100%未満	0 指標(0%)
B(未達成)……………達成度 0%以上 80%未満	3 指標(27%)
C(未達成)……………達成度 0%未満	4 指標(36%)

○ 数値目標の達成状況(詳細)

成果指標			実績値	目標値	達成状況
生涯学習を行っている市民の割合	—	—	35.6%	42%	C
家庭の教育力に満足している市民の割合	—	—	26.6%	30%	B
地域の教育力に満足している市民の割合	—	—	16.6%	20%	B
地域の活動に参加している児童生徒・市民の割合	小学生	—	82.1%	95%	C
	中学生	—	69.7%	80%	C
	高校生	—	34.4%	15%	S
	市民	—	50.0%	50%	S
ものづくりに興味がある児童生徒の割合	小学生	—	79.4%	40%	S
	中学生	—	54.4%	30%	S
図書館の入館者数・利用者数	中央図書館	入館者数	851,172 人	900,000 人	B
	交流館等図書館	貸出利用者数	361,249 人	500,000 人	C

(3) 文化芸術・文化財分野

文化芸術・文化財分野は、「創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承」を基本目標に、6 施策 36 事業に取り組みました。施策の達成状況を見ると、36 事業中 32 事業(89%)が目標を達成(A)又は概ね達成(B)することができました。

目標を達成することができた主な事業は、多数の学校の利用があった「小中学校を対象とした美術館学習」、満足度の高い事業を実施した「学校への文化活動者派遣事業の実施」、記録的な入館者数を達成した「魅力ある美術館展覧会の開催」、多くの登録者と活発な活動を促進することができた「(仮称)ふるさとマイスターの育成と普及・啓発活動の推進」などがあります。

一方、目標を下回る結果となった事業は、参加者数が思うように伸びなかった「出前コンサートの拡充」、休館日の本来の在り方を踏まえ方針を見直した「閉館日を利用した美術鑑賞会の実施」、慎重な検討による計画策定と市民への周知のため策定期間を見直した「歴史継承拠点施設の整備方針の再構築」などがあります。

成果指標の達成状況を見ると、15 指標のうち、目標を達成(S)できたものは 9 指標、数値は改善したものの目標未達成(B)のものは 3 指標でした。また、達成度 0%未満(C)のものは 3 指標ありました。

■ 施策の達成状況

○ 施策の達成状況(集計)

達成状況	事業数
A(達成)……………達成度 100%以上	28 事業(78%)
B(概ね達成)………達成度 80%以上 100%未満	4 事業(11%)
D(未達成)……………達成度 80%未満	3 事業(8%)
—(終了)……………外的要因等により事業終了	1 事業(3%)

○ 施策の達成状況(詳細)

3-1 文化芸術と出会う機会の拡充

施策・事業名	★:重点テーマ関連	主担当課	達成状況	
(1)子どもが文化芸術に出会う機会の拡充	094	体験型公演の充実	文化振興課	A
	095	小中学校を対象とした美術館学習	美術館	A
	096	小中学校長期休暇期間中の体験型展覧会の開催	美術館	A
(2)市民が文化芸術に出会う機会の拡充	097	民芸館講座入門者コースの開設	文化財課	A
	098	藤沢アートハウスでの美術館普及活動	美術館	—
	099	出前コンサートの拡充	文化振興課	D

3-2 文化芸術活動の機会提供と質の向上

(1)各種鑑賞機会の充実	100	クラシック音楽・能楽鑑賞事業出演者によるアウトリーチの実施	文化振興課	A
	101	民芸館展覧会の充実	文化財課	A
	102	魅力ある美術館展覧会の開催	美術館	A
(2)創作・発表機会の充実	103	民芸館講座受講者の発表機会の充実	文化財課	A
	104	市民美術展の開催	文化振興課	B

3-3 文化振興を担う人材の育成・活用

(1)文化芸術を社会貢献につなげる人材育成	105	地域資源を活用した文化事業の奨励★	文化振興課	B
	106	民芸館講座指導スタッフの育成	文化財課	A
	107	作品ガイドボランティアの充実	美術館	A
	108	舞台芸術人材育成事業の実施	文化振興課	A
(2)人材活用の仕組みの構築	109	学校への文化活動者派遣事業の実施★	文化振興課	A

3-4 文化芸術活動を支える基盤の整備

(1)市民が利用しやすい施設運営	110	閉館日を利用した美術鑑賞会の実施	美術館	D
	111	利用者ニーズに対応したサービスの向上(市民文化会館、コンサートホール・能楽堂)	文化振興課	A
(2)文化施設の整備と既存施設の機能保全・拡充	112	文化施設のバリアフリー化・延命化	文化振興課	A
	113	民芸の森の整備	文化財課	A
	114	収集方針に基づく計画的美術作品の収集	美術館	A
	115	文化創造拠点施設の整備方針の再構築	文化振興課	A
(3)情報の収集・発信・活用	116	文化情報の一元化	文化振興課	A

3-5 歴史の継承と文化財の保存・活用

(1)郷土の歴史の編さん	117	新修豊田市史の刊行	文化財課	A
	118	市史活用講座の開催	文化財課	A
(2)郷土芸能等の保存・継承の支援	119	映像記録の作成	文化財課	A
	120	民俗芸能の継承者育成支援と市民に紹介する機会の提供	文化財課	A
(3)町並みの保存整備と活用	121	円滑な修理・修景事業の実施	文化財課	A
	122	旧紙屋鈴木家住宅の国指定促進・保存整備	文化財課	A
	123	町並み保存の住民組織の強化	文化財課	A

3-6 歴史や文化財への理解の促進

(1)鑑賞・学習機会の充実	124	展覧会でのギャラリートークの開催	文化財課	A
	125	体験・学習講座の実施	文化財課	B
(2)市民力を生かした普及・啓発活動の推進	126	(仮称)ふるさとマイスターの育成と普及・啓発活動の推進★	文化財課	A
(3)学校と連携した理解促進	127	郷土学習のスクールサポートの推進	文化財課	B
(4)博物館機能の強化と再編	128	地域資料館の再編	文化財課	A
	129	歴史継承拠点施設の整備方針の再構築	文化財課	D

■ 成果指標の達成状況

○ 数値目標の達成状況(集計)

達成状況	指標数
S(達成)……………達成度 100%以上	9 指標(60%)
A(概ね達成)………達成度 80%以上 100%未満	0 指標(0%)
B(未達成)……………達成度 0%以上 80%未満	3 指標(20%)
C(未達成)……………達成度 0%未満	3 指標(20%)

○ 数値目標の達成状況(詳細)

成果指標			実績値	目標値	達成状況
文化芸術に興味がある児童生徒の割合	小学生	—	54.6%	40%	S
	中学生	—	45.2%	35%	S
鑑賞・見学を行っている市民の割合	—	—	72.8%	70%	S
文化芸術活動(鑑賞・見学を除く。)を行っている市民の割合	—	—	28.5%	25%	S
地域の歴史に興味がある児童生徒の割合	小学生	—	46.6%	38%	S
	中学生	—	33.9%	33%	S
豊田市の歴史・文化への誇りや愛着を持つ市民の割合	—	—	44.2%	50%	B
文化芸術・文化財施設の入館者数・利用者数	市民文化会館	利用者数	328,969 人	390,000 人	C
	コンサートホール・能楽堂	利用者数	84,189 人	88,000 人	B
		市主催事業の鑑賞者数	25,001 人	28,000 人	B
	美術館	入館者数	448,449 人	100,000 人	S
		利用者数	591,974 人	180,000 人	S
	郷土資料館	入館者数	15,140 人	20,000 人	C
	民芸館	入館者数	27,606 人	27,000 人	S
近代の産業とくらし発見館	入館者数	14,811 人	17,000 人	C	

(4) 生涯スポーツ分野

生涯スポーツ分野は「市民が生涯を通じてスポーツに親しみ、楽しめる社会の実現」を基本目標に、5 施策 26 事業に取り組みました。施策の達成状況を見ると、26 事業中 20 事業(77%)が目標を達成(A)又は概ね達成(B)することができました。

目標を達成することができた主な事業は、子ども向けのスポーツ教室を多数開催した「キッズサッカーを始めとした多種目のスポーツ教室の開催」、積極的な情報発信ができた「スポーツ情報ホームページとスポーツ情報コーナーの開設」、わがまちアスリートの認定とPRを積極的に行った「国際・全国大会で活躍する本市ゆかりの選手の奨励及びPR」などがあります。

一方、目標を下回る結果となった事業は、補助制度の利用が進まなかった「指導者活用事業補助制度の利用促進」、施設の機能拡充よりも安心安全のための修繕を優先させたため目標未達成となった「既存施設の機能充実」などがあります。

成果指標の達成状況を見ると、5 指標のうち、数値は改善したものの目標未達成(B)のものは 4 指標、達成度 0%未満(C)のものは 1 指標でした。

■ 施策の達成状況

○ 施策の達成状況(集計)

達成状況	事業数
A(達成)……………達成度 100%以上	16 事業(62%)
B(概ね達成)………達成度 80%以上 100%未満	4 事業(15%)
D(未達成)……………達成度 80%未満	5 事業(19%)
—(終了)……………外的要因等により事業終了	1 事業(4%)

○ 施策の達成状況(詳細)

4-1 「する」スポーツの推進

施策・事業名	★:重点テーマ関連	主担当課	達成状況
(1)子どものスポーツ活動の推進	130	コーディネーショントレーニング教室の開催★	D
	131	キッズサッカー教室を始めとした多種目のスポーツ教室の開催	A
(2)成人のスポーツ活動の推進	132	居宅スポーツプログラム等の提供	A
	133	ウォーキング教室の開催	A
(3)スポーツイベントの開催	134	豊田マラソンの開催	D
	135	豊田市スポーツデーの開催	—
(4)競技スポーツの推進	136	大学、企業との連携によるアスリートの育成支援	A
	137	国際・全国大会で活躍する本市ゆかりの選手の奨励及びPR	A

4-2 「みる」スポーツの推進

(1)国際的・全国的スポーツイベントの開催	138	スポーツ施設を生かした観光の仕組みづくり	スポーツ課	A
	139	みる・きくスポーツイベントの誘致・開催	スポーツ課	A
(2)身近なスポーツ活動の応援支援	140	スポーツ観戦情報の提供	スポーツ課	A
	141	地域に密着したチームの応援	スポーツ課	B
(3)メディアを通じたみる・きくスポーツの推進	142	地域独自のメディア等の有効活用	スポーツ課	A

4-3 「支える」スポーツの推進

(1)自立に向かう地域スポーツクラブの育成支援	143	指導者活用事業補助制度の利用推進★	スポーツ課	D
	144	中間支援組織の整備	スポーツ課	A
(2)スポーツ団体の活動支援	145	スポーツ推進委員活動の充実★	スポーツ課	A
(3)指導者の養成・整備	146	企業・大学等との連携によるスポーツ指導者派遣制度の確立	スポーツ課	A
	147	コーディネーショントレーニング指導者の養成	スポーツ課	B
(4)スポーツ情報ネットワークの充実	148	スポーツ情報ホームページとスポーツ情報コーナーの開設	スポーツ課	A

4-4 スポーツ施設環境の充実

(1)施設の拡充	149	既存施設の機能拡充	スポーツ課	D
	150	地域型スポーツ施設の整備	スポーツ課	A
(2)老朽化への対応	151	施設管理方針に基づく既存スポーツ施設の改修・修繕の実施	スポーツ課	A
(3)施設管理運営体制の充実	152	指定管理者制度の充実によるサービスの向上	スポーツ課	B
	153	安全安心な施設管理の徹底	スポーツ課	B

4-5 推進体制の整備

(1)スポーツ関係団体等の横断的な連携の推進	154	連絡調整会議の設置・開催	スポーツ課	A
(2)市体育協会の組織体制の充実支援	155	市体育協会との連携によるソフト事業の充実	スポーツ課	D

■ 成果指標の達成状況

○ 数値目標の達成状況(集計)

達成状況	指標数
S(達成)……………達成度 100%以上	0 指標(0%)
A(概ね達成)………達成度 80%以上 100%未満	0 指標(0%)
B(未達成)……………達成度 0%以上 80%未満	4 指標(80%)
C(未達成)……………達成度 0%未満	1 指標(20%)

○ 数値目標の達成状況(詳細)

成果指標			実績値	目標値	達成状況
成人の週 1 回以上のスポーツ実施率	—	—	54.1%	65%	C
新体力テストの平均値(全国平均以上の種目数)	小学生	男子	0 種目	全 8 種目	B
		女子	1 種目	全 8 種目	B
	中学生	男子	4 種目	全 8 種目	B
		女子	3 種目	全 8 種目	B

(5) 教育行政事務分野

教育行政事務分野は、「市民に信頼される教育行政の実現」を基本目標に、2施策6事業に取り組みました。施策の達成状況を見ると、6事業中5事業(83%)が目標を達成(A)することができました。

目標を達成することができた主な事業は、子どもたちの育ち・学びの姿・学校現場の実情を直接知る事ができた「子どもと教育委員の意見交換会の開催」、計画掲載事業を中心に現地視察を含む点検・評価を実施した「点検・評価の実施」などがあります。

一方、目標を下回る結果となった事業は、広報戦略が定まらず発行に至らなかった「教育委員会だよりの発行」があります。

成果指標の達成状況を見ると、2指標のうち、目標を達成(S)できたものは1指標、数値は改善したものの目標未達成(B)のものは1指標でした。

■ 施策の達成状況

○ 施策の達成状況(集計)

達成状況	事業数
A(達成)……………達成度 100%以上	5 事業(83%)
B(概ね達成)………達成度 80%以上 100%未満	0 事業(0%)
D(未達成)……………達成度 80%未満	1 事業(17%)
—(終了)……………外的要因等により事業終了	0 事業(0%)

○ 施策の達成状況(詳細)

5-1 市民に開かれた教育委員会の推進

施策・事業名		★:重点テーマ関連	主担当課	達成状況
(1)教育行政に関する市民参加の推進	156	子どもと教育委員の意見交換会の開催	教育政策課	A
	157	定期的なアンケート調査の実施	教育政策課	A
(2)教育委員会情報の整理・公表	158	教育委員会だよりの発行	教育政策課	D
	159	計画の進捗状況及び点検・評価結果の公表	教育政策課	A

5-2 教育行政における適切なマネジメントの推進

(1)教育行政評価制度の推進	160	点検・評価における市民意見の反映	教育政策課	A
	161	点検・評価の実施	教育政策課	A

■ 成果指標の達成状況

○ 数値目標の達成状況(集計)

達成状況	指標数
S(達成)……………達成度 100%以上	1 指標(50%)
A(概ね達成)………達成度 80%以上 100%未満	0 指標(0%)
B(未達成)……………達成度 0%以上 80%未満	1 指標(50%)
C(未達成)……………達成度 0%未満	0 指標(0%)

○ 数値目標の達成状況(詳細)

成果指標	実績値	目標値	達成状況
教育行政に係る情報提供に満足している市民の割合	20.9%	25%	B
教育行政評価制度に対する市民の評価(5点満点中)	4点	4点	S

発行・編集 豊田市教育委員会 教育政策課

〒471-8501 豊田市西町 3-60

電話(0565)34-6658

FAX(0565)34-6771

E-mail kyouiku@city.toyota.aichi.jp

ホームページ <http://www.city.toyota.aichi.jp/>
